

発寒ひかり 保育園だより

2021年
2月号

巻頭言

ある日の絵の具遊びで、きりん（5歳児）組のNちゃんが、画用紙の真ん中に地球と、そのまわりに「ころなにまけるながんばって」と描きました。Nちゃんの願いが込められた、素晴らしい作品だと思います。（裏面掲載）

コロナについて、きりん組に質問をしたところ、命に関わることや主症状だけではなく、味覚・嗅覚障害、脱水症状なども理解していました。また、感染対策については、合言葉のように「手洗い・うがい・消毒・マスク」。そして、「距離をとる」「2mくらいだって、病院に貼ってた」「あまりおでかけしない」「出されたご飯を全部食べて、元気な体をつくる」と、次々に声があがりました。

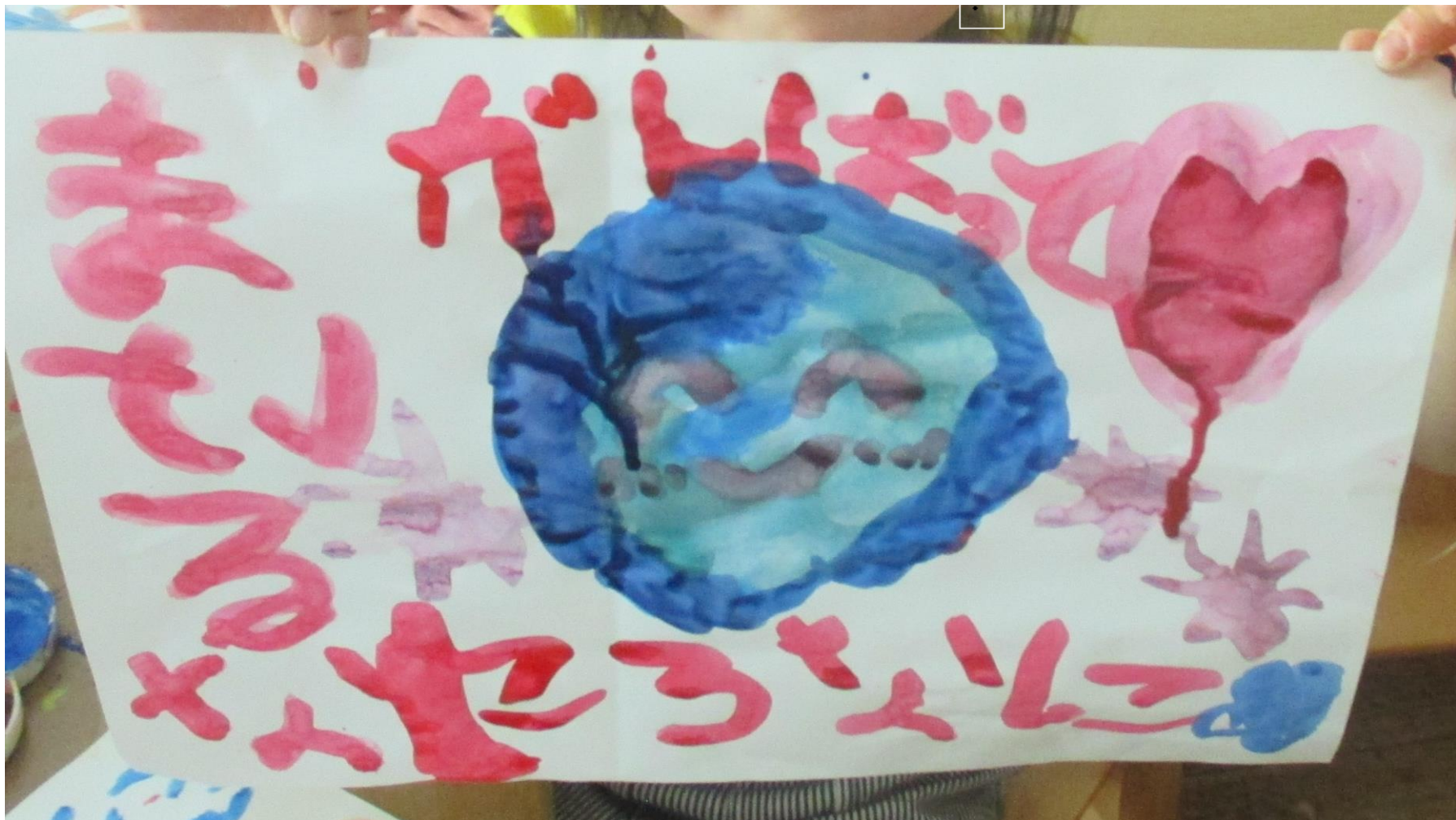
中には、「手洗いを忘れることがある」と正直に答える子がいました。マスクを忘れる子も。マスクを忘れないために、「忘れたら取りに戻ってる」「カバンに予備を入れてる」など、それぞれ工夫しているようです。

そして、最後にAちゃんが、「みんなができることをすれば、少し（コロナが）減るかもしれない」と締めくくりました。対策の重要性をしっかりと理解していることにとっても感心しました。

私たち大人はどうでしょう。自分くらい、少しくらいと、気の緩みはありませんか？

園医さんからは、「子どもへの感染を防ぐため、大人がしっかりと対策をすること」と、何度も助言を頂いています。子どもたちに恥じないよう、私たち大人も、今できることに真剣に取り組み、行動で示しましょう。みんなの命を守るために。

副主任保育士 家村 維人



「ころなにまけるな がんばって」